



11月の園だより

社会福祉法人 であいの里 さやま保育園
2023年11月1日

保育目標 領解 ころがけます

- ・約束やルールのある遊びを友だちと一緒に楽しむ。
- ・秋の自然物を使って、工夫したり、考えたりしながら作ってみる。

今月の行事予定

6・20日 礼拝 5日 佐山ふるさとまつり出品
7日 3歳児秋えんそく（手作り弁当／雨天8日）
9日避難訓練 10日奉仕作業 15日交通教室
発育測定（13日ぞうきりん 14日うさぎりす 15日あひる
ひよこ）16日 内科検診 22日 園説明会
17日4・5歳児秋遠足（手作り弁当／雨天24日）
21日 誕生会 21日～28日 未満児作品展
26日 集金引落 28日 さんまクッキング



【法話】 よい心

夏の暑さがウソのように、涼しさを乗り越して肌寒さを感じるようになりました。地域の方のお陰で、今年もたくさんのさつまいもを掘らせていただき、おやつにはみんなで焼きいもを味わう経験もさせていただきました。有り難いことでした。季節の変わり目、体調の変化に留意しながら、実りの秋に、一回り大きく成長できる体験を重ねていきたいと思っています。

10月の園だよりでは、私たち人間の心は、地獄・餓鬼・畜生・修羅・人間・天上の六つの迷いの心が、次から次へとわきおこってくることを書きました。この六つの悪い心は、死ぬまで決して私の心から、なくなることはありません。でも、仏さまの教えを一生懸命に聞くと、仏さまのよい心が、私の悪い心をつつんでくださいます。仏さまのよい心とは、

しょうもん
声聞の心（正しい教えを一生懸命に聞く心）

えんがく
縁覚の心（正しい道理をわきまえて反省する心）

ぼさつ
菩薩の心（みんなのことを考える心）

ぶつ
仏の心（私たちすべてのものを救わずにはおかないと誓われた阿弥陀さまのような心）
の四つです。

仏さまのよい心をいただいて、私の悪い心がそれにつつまれていても、縁にふれれば、やっぱり悪い心がニョキッと顔を出してしまいます。仏さまのよい心につつまれてありがたい、そして悪い心に、お恥ずかしい、ごめんなさい、の

かんしゃとざんぎ
「感謝」と「慚愧」の生活をさせていただきたいものです。

合 掌



【人権を尊重する保育～まことの保育～】

10月28日（土）は、保護者のみなさまにご協力いただき、全職員で「人権を尊重する保育とは、不適切でない保育とは」について研修をさせていただきました。

まず、全国保育士会が出している「人権擁護のためのセルフチェックリスト～子どもを尊重する保育のために～」により、保育者一人ひとりが日々の姿を見つめ直しました。そして、こども家庭庁がこどもまん中社会の実現をすすめる基盤となる「こども基本法・子どもの権利」を日々の保育と結びつけて学びました。その上で、さやま保育園の現状を掘り起こして、如何に改善していくべきかをグループで対話を繰り返しました。

さやま保育園はまことの保育の心で保育をすすめています。まことの保育の心とは、現実社会でどのような生き方をすることか、浄土真宗本願寺派のご門主が下記のように示してくださっています。

一、自分の殻に閉じこもることなく

穏やかな顔と優しい言葉を大切にします
微笑み語りかける仏さまのように

二、むさぼり、いかり、おろかさに流されず
しなやかな心と振る舞いを心がけます
心安らかな仏さまのように

三、自分だけを大事にすることなく
人と喜びや悲しみを分かち合います
慈悲に満ちみちた仏さまのように

四、生かされていることに気づき
日々精一杯つとめます

人びとの救いに尽くす仏さまのように

ないおん11月号子育てフォーラムもご覧ください。
常に保護者の皆さまと、問い続けていきたいことです。